


施策カルテ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	信頼される学校教育を推進する	取組の 基本方向	「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るために「高い指導力と情熱溢れる教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が充実した学校生活を送っています。
--------------	----------------------	----------------	----------------	-------------	--	------------------	--------------------------------------

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	高校、高等教育の充実		④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)	
				H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		
				指標① (総合計画に基づく指標)	69	78	79	91	80	113.8%	
				指標②						#DIV/0!	
②施策目標		市民が自己実現を図るために必要な、高度で専門的な学習機会や場が充実しています。		指標③				#DIV/0!			
③施策を取巻く環境		<p>国・県等の動向</p> <p>国は、各大学、短期大学、高等専門学校における教育研究資源を活用し、社会人の学び直し(リカレント)ニーズに対応した教育プログラムを支援している。また、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が、安心して学習に打ち込める社会をつくるため、国費により、公立高等学校の授業料を無償化するなど家庭の教育費の負担を軽減する施策を22年度からスタートさせた。</p> <p>外部意見その他</p> <p>市民一人ひとりの自己実現が図られる高度で専門的な学習機会の充実への取組が求められている。</p>		指標④ (特記事項)				-----			
⑤市民意識調査結果		<p>市民の施策満足度 <b>17.1%</b></p> <p>市民の施策重要度 <b>68.7%</b></p> 		⑥施策の評価		<p>達成度(単年度目標)</p> <p>● 達成している(90%以上)</p> <p>概ね達成(70%~90%未満)</p> <p>達成していない(70%未満)</p> <p>説明: 市内8大学の公開講座数は増加傾向にあり、高度で専門的な学習機会が充実してきている。また、奨学金を必要としている者が融資を受けやすくするため、12月末まで募集期間を延長するなど、見直し改善を図ることにより、修学困難者に対する高度で専門的な学習機会の確保が図られている。</p>		⑦現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)		<p>成果が見られる点</p> <p>大学コンソーシアムとちぎは、参加校の一部の正規授業科目を一般社会人や高校生も受講できる「オリジナル授業科目」として提供しており、公開講座数の拡大に役立っている。21年度からは、宇都宮市と協力し「実践・宇都宮のまちづくり」の講座を開催するなど積極的に事業を推進している。</p>	
				<p>必要性・緊急性(住民・社会ニーズ)</p> <p>● 増加している</p> <p>横ばい</p> <p>減少している</p> <p>説明: 前年度と比較して市民大学の開催回数は増加しており、開催講座によっては定員以上の参加者があり、市民ニーズが高い。奨学金の貸付者数は前年度と同人数程度であるが、今後の社会・経済情勢の変化により、ニーズが拡大する可能性がある。</p>		<p>改善の必要な点</p> <p>奨学金貸付事業については、様々な機会を捉えて積極的にPRしていく必要がある。リカレント教育については、市内8大学や大学コンソーシアムとちぎなどとの連携を強化し、公開講座等の充実を図る必要がある。</p>					
				<p>適切性(適切な事務事業の選択、実施)</p> <p>● 十分である</p> <p>不十分な事業が一部ある</p> <p>不十分な事業が複数ある</p> <p>説明: 奨学金を必要としている者が、貸付を受けられるようPRの強化に努める必要がある。</p>							
				<p>有効性(政策目標への効果)</p> <p>● 十分である</p> <p>やや不十分である</p> <p>不十分である</p> <p>説明: 宇都宮大学との連携や市民大学の開催は、高度で専門的な学習機会の充実に大きく貢献している。また、奨学金貸付事業は、経済的な理由で修学が困難な者に対して等しく学習機会を提供する事業として有効性が極めて高い。</p>							

3 今後の取組方針

⑧取組の考え方	総論	これまで以上に、市民一人ひとりの自己実現を支援し、高度で専門的な学習機会を充実することが求められていることから、高校、高等教育の充実を積極的に図っていく。	⑨政策評価 会議意見	同左
	重点事業	奨学金貸付事業のPR、市内大学との連携促進、ニーズを捉えた市民大学における学習機会の提供、および、より高度で専門的な学習機会を提供するリカレント教育を推進していく。		
	見直し事業			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費(千円)	事業費(千円)			
1	奨学金貸付事業 担当課 教育企画課	経済的な理由により、高校、大学等に修学が困難な者など	S43	当該年度の貸付者数	695	700	243,335	249,902	A	継続	施策目標を達成するためには、経済的理由により、修学が困難な者への支援が必要であり、奨学金貸付制度は、事業手法として適切で効果の高い事業であることから、今後も継続して実施していく。ただし、奨学金を必要としている者が、貸付を受けられるようPRの強化が必要である。
					551	558					
2	宇都宮大学教育学部連携事業負担金 担当課 教育企画課	小中学校教員、市職員	H18	連携協議会、分科会開催回数	10	7	100	50	B	継続	今後も宇都宮大学教育学部との連携事業を継続し、理論と実践を統合した研究を重ね人間力向上を推進していく。
					9	8.3					
再掲	市民大学運営協議会交付金 担当課 生涯学習課	市内在住、在勤、在学者など	H5	講座実施回数	136	136			-	継続	より多くの市民に学習機会を提供するため、市民の学習ニーズを的確に捉え、地域教育の視点も取り入れながら、内容を更に充実したものにして実施していく。
					112	129					
施策事業費合計					243,435	249,952					